

こんにちは！戦略的研究開発知財マネジメント強化事業事務局です。

少しずつ秋の気配が感じられる季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。
さて、今回は知財マネジメント事業における個別ネットワークの各テーマについてご紹介します。

🌀 テーマ：個別ネットワークのご紹介 🌀

本事業では、公的研究機関等の知財部門によるネットワーク構築を支援し、横の連携を促進することを目的として、複数の個別テーマを設定し、全国の公設試の知財担当の方に参加いただいています。

いずれのテーマにも複数機関・複数名から申込みがあり、それぞれの課題意識や実務ニーズに応じた活動を9月から順次開始しています。今回は、各テーマの概要と今後の取組をご紹介します。

テーマ1：ひな形を見直す会

- ・担当専門家：池田幸雄 弁護士（法律事務所 LAB-01）
- ・申込数：8 名
- ・申込機関数：7 機関

～概要～

本テーマでは、契約書ひな形の改正にあたって検討すべき論点について講義を受けた上で、各組織が専門家の支援を受けながら改正作業を進めます。

第1回では、契約に関して検討が必要な論点や全体像、ひな形を見直さないことによるリスク、見直し時の留意点について専門家による講義を行い、今後は10～11月にかけて、各機関が課題を整理しながら改正作業を進め、12月頃の第2回で成果の共有と意見交換を行う予定です。

既存のひな形を実務に合わせて見直したいと考えている機関にとって、実践的な学びの場となっています。

テーマ 2：侵害対応

- ・担当専門家：大堀健太郎 弁護士/弁理士（法律事務所 LAB-01）
- ・申込数：11 名
- ・申込機関数：6 機関

～概要～

本テーマでは、侵害対応の基本的な考え方や過去事例について学んだ上で、仮想事例を用いて、問

題発生時の対応方針や予防策を検討します。さらに、各組織に必要な体制整備や対応手順を整理し、自組織向けのマニュアル試作を目指します。

どのようなマニュアルを作成したいかについて参加者間で意見交換を行い、関心の高いテーマに応じて講義と添削指導を実施する予定です。たとえば、他県による侵害、フリマサイトにおける侵害、海外における侵害など、実務で直面し得るテーマを想定しています。

侵害発生時に慌てず対応できる体制づくりにつながる取組です。

テーマ3：知財部向け勉強会

・担当専門家：外村玲子 弁護士/弁理士(中村合同特許法律事務所)、羽鳥貴広 弁護士（長島・大野・常松法律事務所）

・申込数：28 名

・申込機関数：19 機関

～概要～

本テーマでは、参加者の経験に応じて「1 年生向け勉強会」と「経験者向け勉強会」を実施しています。

1 年生向け勉強会では、着任歴の浅い知財担当者を対象に、知的財産の基礎、種苗法、契約、商標など、知財業務を進める上で必要な基本事項を学びます。

経験者向け勉強会では、育成者権許諾契約や商標実務、公設試験場の知財担当者による実務知見、ワークショップなど、より応用的・実践的な内容を扱います。

知財業務に初めて携わる方から、すでに経験のある方まで、それぞれのレベルに応じて学びを深められるテーマとなっています。

テーマ4：育成者権による保護終了後の対応・事前対策に関する勉強会

・担当専門家：早川尚志 弁護士（さくら国際特許法律事務所）

・申込数：13 名

・申込機関数：9 機関

～概要～

本テーマでは、育成者権の保護期間終了後を見据えた対応や、商標権、ブランド戦略、品質管理等を活用した品種保護の考え方について学びます。

権利関係の「棚卸し」として、商標権や育成者権の帰属、許諾契約の内容、管理体制などについて専門家による講義を行い、対象品種の特性や利用形態の整理、マーケティングの視点からの検討、さらに必要な対策の工程表作成まで扱う予定です。

育成者権による保護期間終了後も、品種の価値をどう維持・活用していくかを考える、先を見据えたテーマです。

テーマ5：産地化・ブランド化への道

・担当専門家：辻本直規 弁護士（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業）

- ・ 申込数：12 名
- ・ 申込機関数：9 機関

～概要～

本テーマでは、仮想品種を題材として、普及戦略、産地形成、生産者との連携、ブランド化、知財活用などの観点から、品種の価値向上に向けたロードマップを検討します。

ブランド化を進める上で活用可能な知的財産制度について専門家による講義を行い、その後は、GI、商標、育成者権などをどのように使い分けるかといった点も含め、各機関でブランド化方針を検討し、専門家からコメントを受けながら理解を深めていく予定です。

研究成果を地域の価値やブランドへとつなげていく視点を養うテーマです。

各テーマでは、専門家から知識を得るだけでなく、参加者同士で課題や実務上の工夫を共有し、各機関で活用できる成果につなげることを目指しています。

個別ネットワークの活動は今後も継続して実施される予定であり、本メルマガでも活動状況や成果について順次ご紹介していきます。ぜひ今後の配信もご覧ください。

< 次回の配信予定 >

テーマ：海外進出とデータ保護

配信時期：10 月 14 日頃

< メルマガのバックナンバー >

下記 HP よりこれまで配信された全てのメルマガをご覧ください。

ぜひ、気になる情報をチェックしてください。

URL：<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/chizai/mailmagazine.html>

※メールマガジン記事の無断複製、無断転載を禁じます。